



IX2106

IP-PBX 用ゲートウェイ

Web 設定マニュアル

ご注意

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでもご覧になれる場所に必ず保管してください。

はじめに

本装置は、ソフトバンクにより提供のおとく光電話を IP - PBX 直収でご利用する場合の専用ゲートウェイです。

本装置は、パソコンの Web ブラウザによる Web 設定に対応しています。

Web 設定では、ウィザードの流れに従ってパラメータの入力、選択を行うことで、インターネット接続や VPN 接続などの基本的なネットワーク構成をはじめ、フィルタや静的 NAT の設定が可能です。

本製品は、おとく光電話のサービス利用を前提にソフトバンクにより提供されますが、本装置本体と Web 設定にて登録の各種情報は、全てお客様ご自身にて管理・設定をいただきます。

注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本装置のソフトウェアバージョン、ご使用になっている OS や Web ブラウザによって、本書の説明と実際に表示される内容が異なることがあります。本書では、参考に Windows 10、Microsoft Edge ブラウザを利用するための設定方法を記載しています。
- (4) 運用した結果については、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■商標について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Edge および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。

Web 設定でできること

Web 設定では、以下の操作が可能です。

- 詳細設定
既に設定済みの内容を変更することや、新しく設定を追加することができます。
また、設定した内容を確認することができます。
- 保守管理
ping による経路の疎通確認、また、装置の再起動を行うことができます。

マニュアルの構成と表記について

マニュアルの構成

このマニュアルは、以下の内容で構成されています。

章	タイトル	内容
1	Web 設定の準備	Web 設定のトップページにアクセスするために必要なケーブルの接続やパソコンと Web ブラウザの設定などについて説明しています。
2	メニュー	トップページやログイン/ログアウトの方法などについて説明しています。
3	詳細設定	Web 設定で行うことのできる項目について、機能ごとに説明しています。
4	保守管理	ping の実行、装置の再起動について説明しています。
5	困ったときには	画面に表示されるメッセージ、接続状態表示と問題対処方法について説明しています。

マニュアルの表記について

記号	意味
注意	間違えるとエラーとなる内容や、設定の制限事項など、注意して頂きたい内容について説明しています。
メモ	本装置の内部動作や補足情報など、操作をするうえで知っておくとより理解が深まる内容を説明しています。
[]	マウスで選択する項目は[]で括って記載しています。
「 」	画面に表示されるメッセージや項目は「 」で括って記載しています。

Web 設定で利用可能な文字について

Web ブラウザでは一部の文字を除き、以下の半角文字の入力が可能です。

コード番号																
	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
20	空白 (注)	!	" (注)	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	? (注)
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥ (注)]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

注意

- 上の表に存在しない文字(漢字やひらがななどの全角文字や制御文字)は入力できません。これらの文字を入力したときは、Web ブラウザで入力エラーが表示されます。
- Web ブラウザのウィザード(詳細設定、保守管理)による設定時に、文字入力フォームに空白文字(スペース)、「`”`」、「`?`」、「`¥`」の文字を入力しないでください。Web ブラウザで入力エラーが表示されます。

もくじ

はじめに	i
Web 設定でできること	iii
マニュアルの構成と表記について	iv
Web 設定で利用可能な文字について	v
1 Web 設定の準備	1-1
1.1 IX2106	1-2
1.1.1 ケーブル類を接続する	1-2
1.1.2 本装置の電源を入れる	1-4
1.1.3 パソコンのネットワークを設定する	1-4
1.1.4 パソコンのブラウザを設定する	1-8
1.1.5 Web 設定のトップページを開く	1-11
2 メニュー	2-1
2.1 トップページ	2-3
2.2 ログインする	2-4
2.3 ログアウトする	2-6
2.4 設定の保存	2-7
3 詳細設定	3-1
3.1 基本設定	3-2
3.1.1 パスワードの設定	3-2
3.2 LAN	3-5
3.2.1 LAN アドレスの設定	3-5
3.2.2 DHCP サーバの設定	3-7
3.3 WAN	3-10
3.3.1 PPPoE パススルーの設定	3-10
3.3.2 静的 NAT の設定	3-11
3.3.3 WAN フィルタの設定	3-15
4 保守管理	4-1
4.1 ping の実行	4-2
4.2 再起動	4-3
5 困ったときには	5-1
5.1 メッセージエリアの警告メッセージ	5-2
5.2 入力エラーメッセージ	5-3

1. Web 設定の準備

1 Web 設定の準備

本章では、Web 設定のトップページにアクセスするまでの手順について説明します。

1.1 IX2106

- ケーブル類を接続する
- 本装置の電源を入れる
- パソコンのネットワークを設定する
- パソコンのブラウザを設定する
- Web 設定のトップページを開く

1. Web 設定の準備

1.1 IX2106

工場出荷の時点で、Web 設定を行うための設定が投入されています。

注意 ご契約のサービスにより Web 設定をご利用いただけない場合があります。

1.1.1 ケーブル類を接続する

(1) 本装置の LAN 側ポートとパソコンの LAN ポートを接続します。

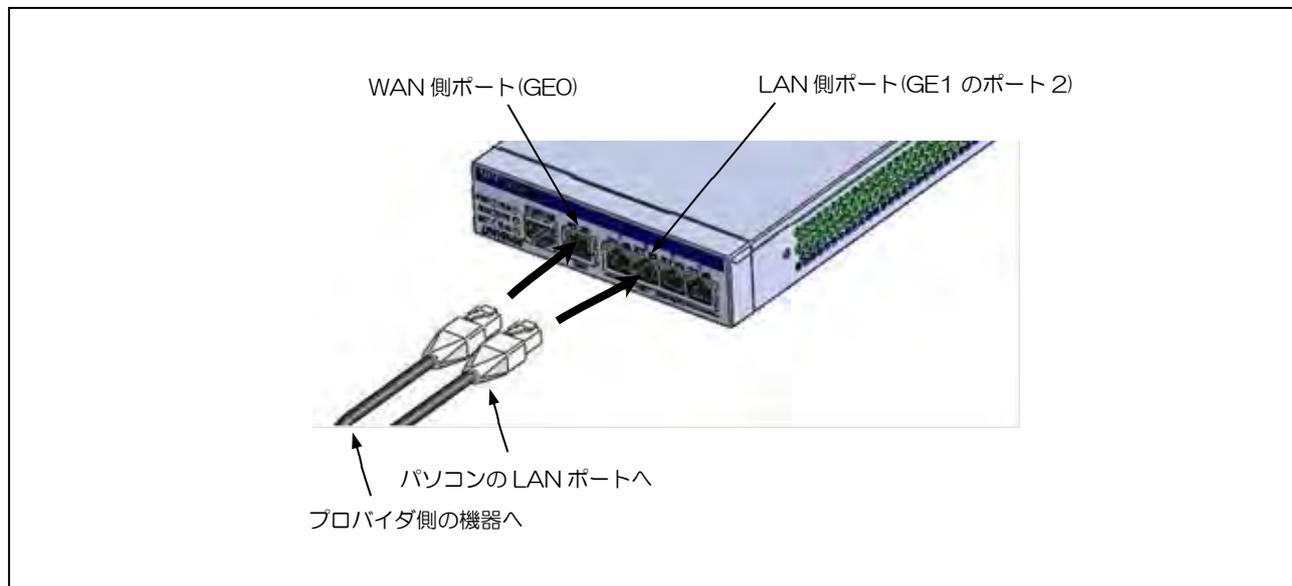
注意 カテゴリ 5 以上のストレート結線またはクロス結線の UTP または STP ケーブルを使用してください。

メモ LAN 側ポートは GE1 のポート 2 を使用します。

メモ 本装置は、ストレート結線／クロス結線を自動認識します。

(2) 本装置の WAN 側ポート (GEO) とプロバイダ側の機器 (ONU 等) を接続します。

注意 ケーブルは、カテゴリ 5 以上のストレート結線またはクロス結線の UTP または STP ケーブルを使用してください。



1. Web 設定の準備

(3) 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源ケーブルのプラグを AC100V のコンセントに確実に差し込みます。

注意 AC100V(50Hz/60Hz)のコンセントに接続してください。

注意 プラグの緩みがないように確実に差し込みます。

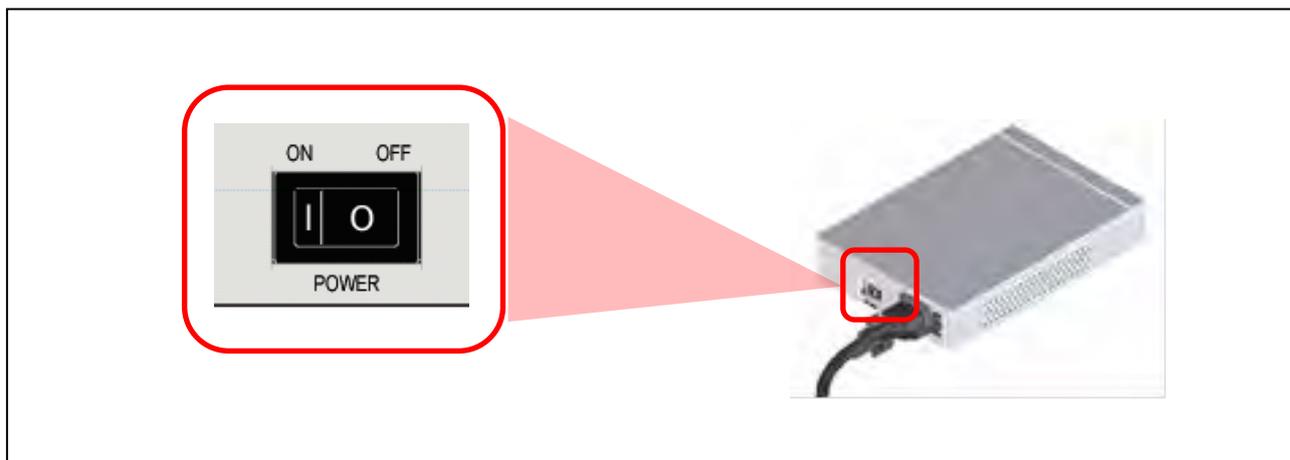
1. Web 設定の準備

1.1.2 本装置の電源を入れる

- (1) 電源スイッチの[I]を押して ON にします。起動後、前面の「PWR ランプ」が緑色に点灯、「ALM ランプ」が消灯していることを確認します。

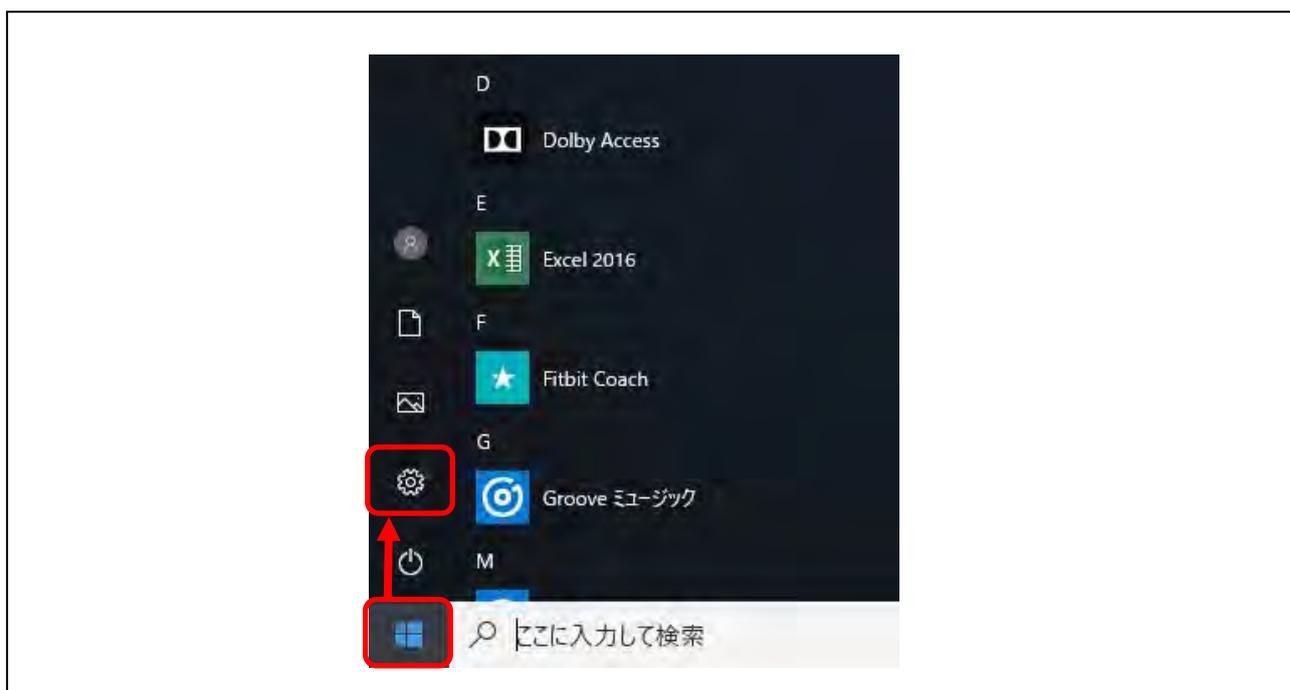
注意 電源を OFF にするときは、本装置前面の「BSY ランプ」が点灯していないことを確認して[O]を押します。

メモ 起動には 30 秒程度かかります。



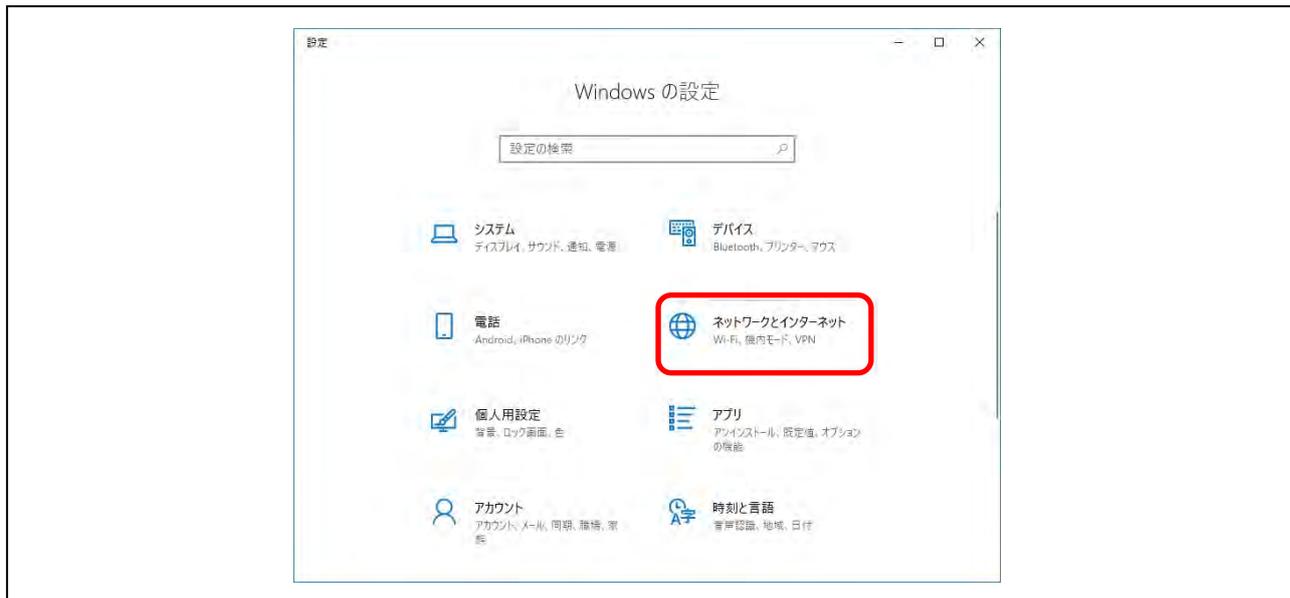
1.1.3 パソコンのネットワークを設定する

- (1) 画面左下にある Windows の[スタート]メニューをクリックし、メニューの[設定]をクリックします。

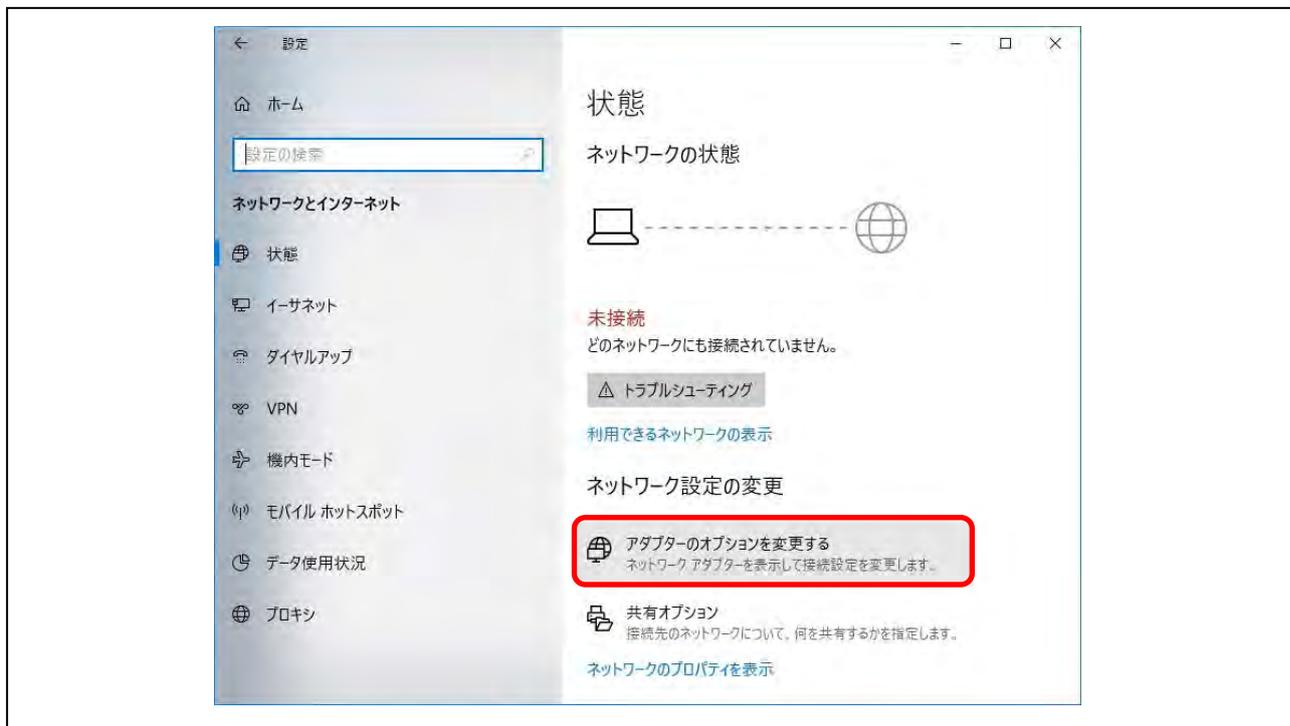


1. Web 設定の準備

(2) [ネットワークとインターネット]をクリックします。

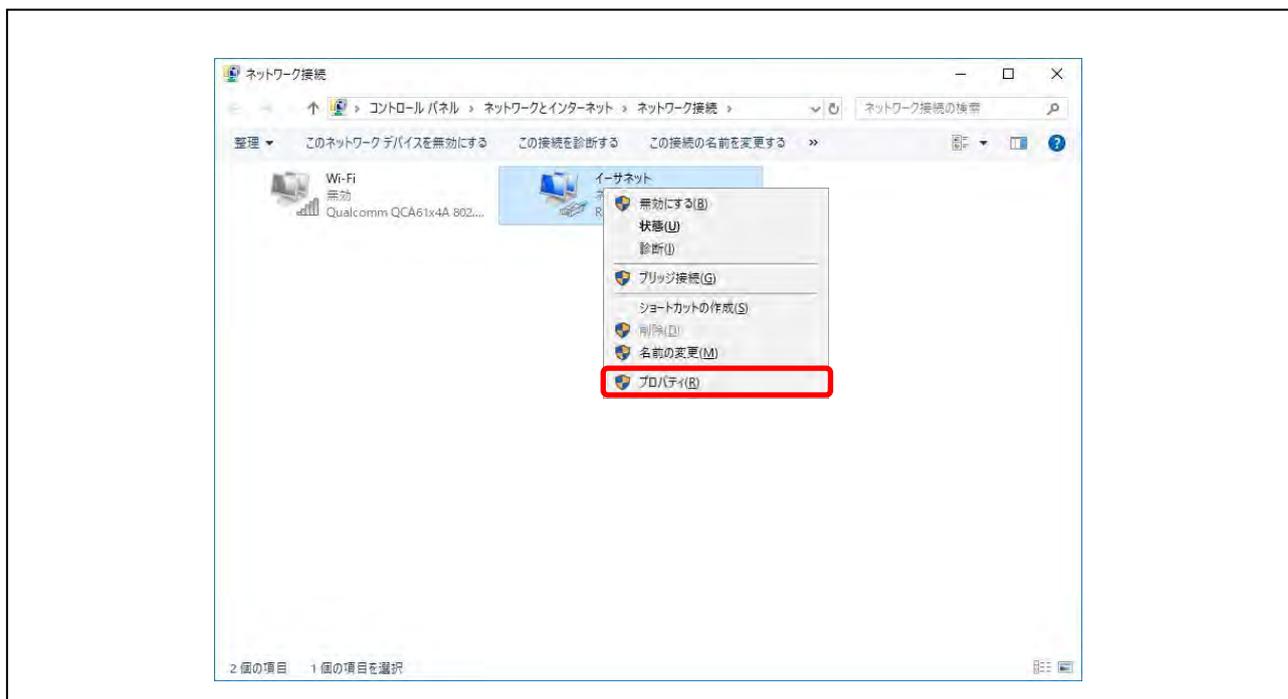


(3) [ネットワーク設定の変更]の[アダプターのオプションを変更する]をクリックします。



1. Web 設定の準備

- (4) [イーサネット]を右クリックしたメニューから[プロパティ(R)]をクリックします。

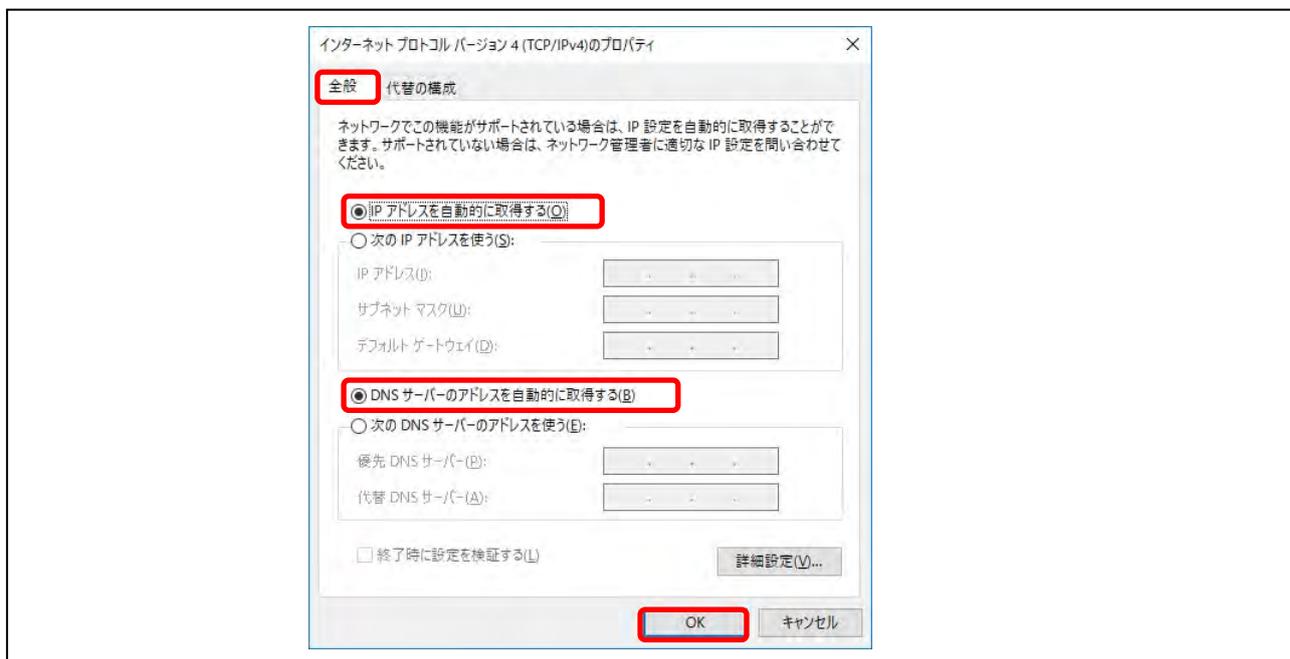


パソコンにログインしている場合は、管理者アカウントのパスワード入力が必要になります。

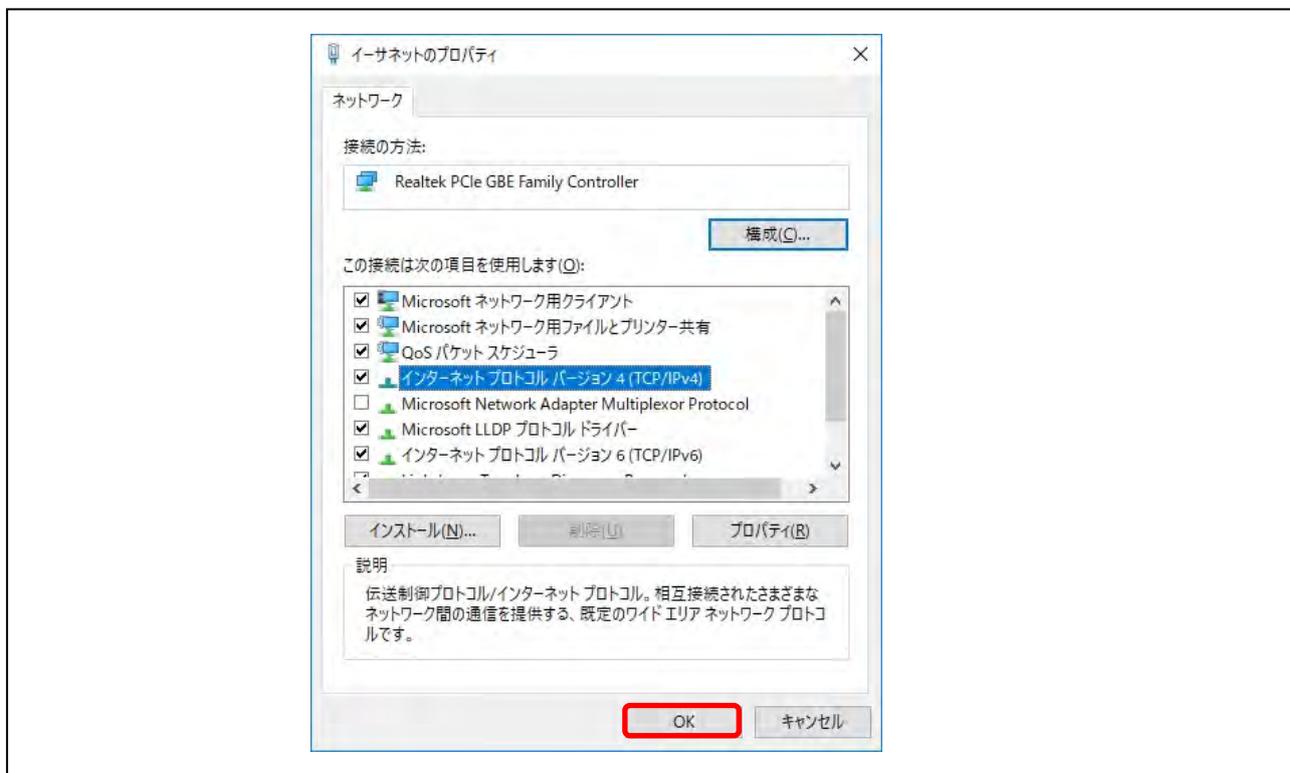
- (5) 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択します。
- (6) [プロパティ(R)]をクリックします。
- (7) [全般]タブをクリックします。
- (8) [IP アドレスを自動的に取得する(O)] のラジオボタンをチェックします。
- (9) [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)]のラジオボタンをチェックします。

1. Web 設定の準備

- (10) [OK]をクリックして、【インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ】画面を閉じます。



- (11) [OK]または[閉じる]をクリックして、【イーサネットのプロパティ】の画面を閉じます。



1. Web 設定の準備

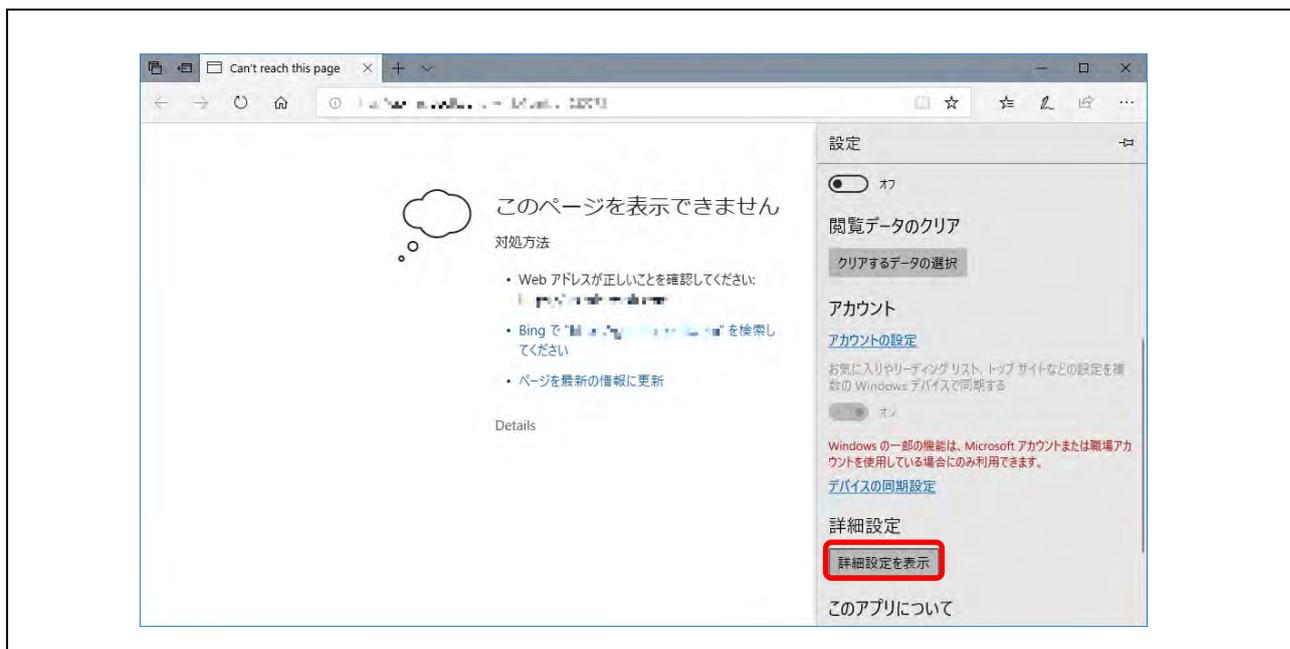
1.1.4 パソコンのブラウザを設定する

 Microsoft Edge のバージョンにより、画面の表示内容が異なる場合があります。

- (1) パソコンで、Web ブラウザ(Microsoft Edge)を起動します。
- (2) Web ブラウザのメニュー[…]をクリックし、[設定]をクリックします。

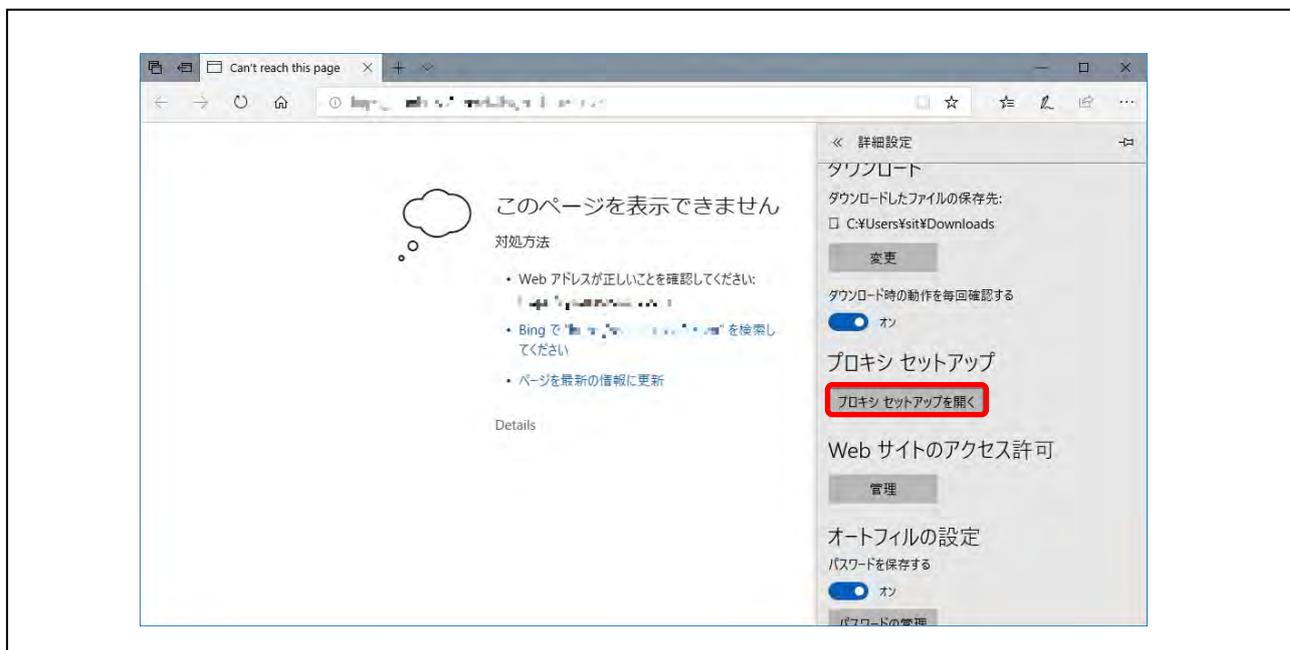


- (3) 設定メニューを下方にスクロールし、[詳細設定]の[詳細設定を表示]をクリックします。



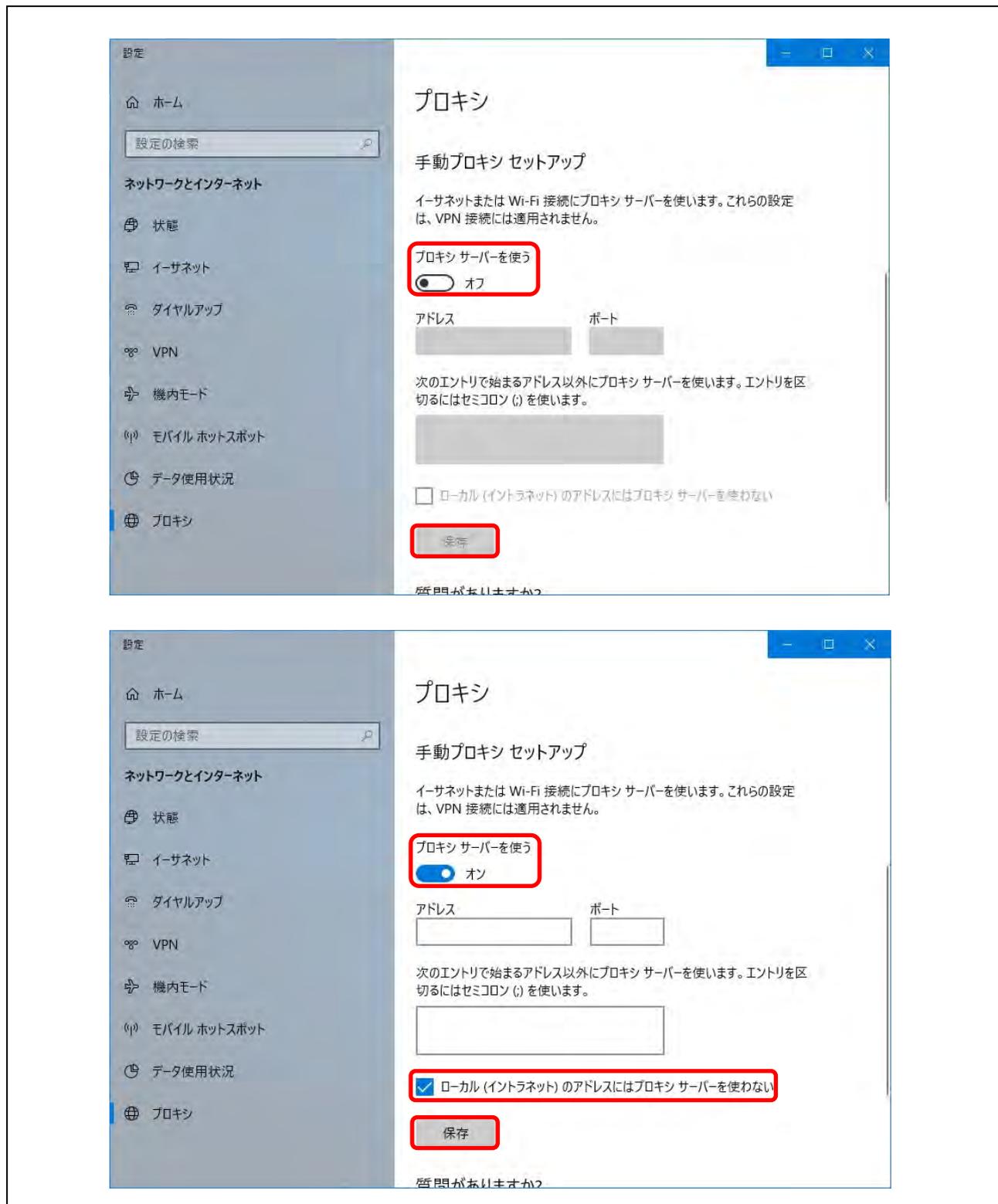
1. Web 設定の準備

- (4) 詳細設定メニューを下方にスクロールし、[プロキシ セットアップ]の[プロキシ セットアップを開く]をクリックします。



1. Web 設定の準備

- (5) [手動プロキシ セットアップ]を下方にスクロールし、[プロキシ サーバーを使う]を[オフ]にするか、[ローカル(イントラネット)のアドレスにはプロキシ サーバーを使わない]にチェックして、[保存]をクリックしてください。

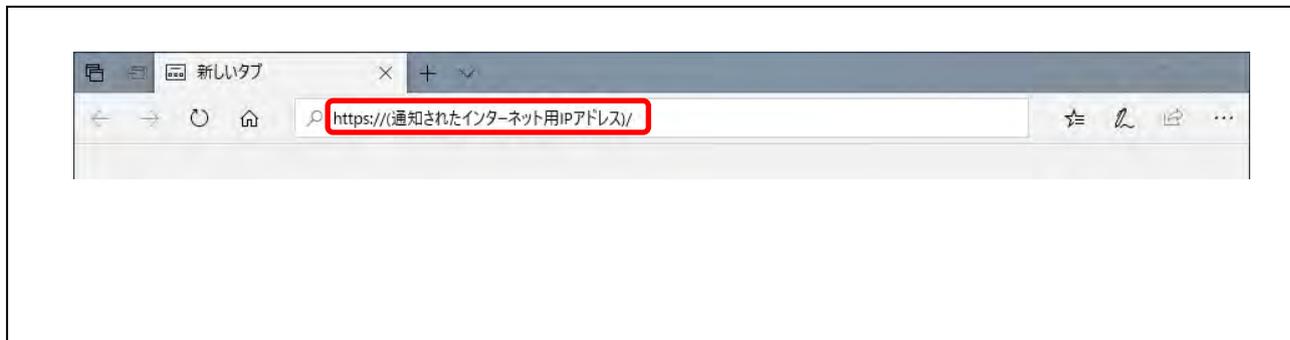


注意 本装置は Cookie を使用しています。「すべての Cookie をブロック」または「高」にすると、本装置で使用する Cookie がブロックされ、設定を行うことができません。

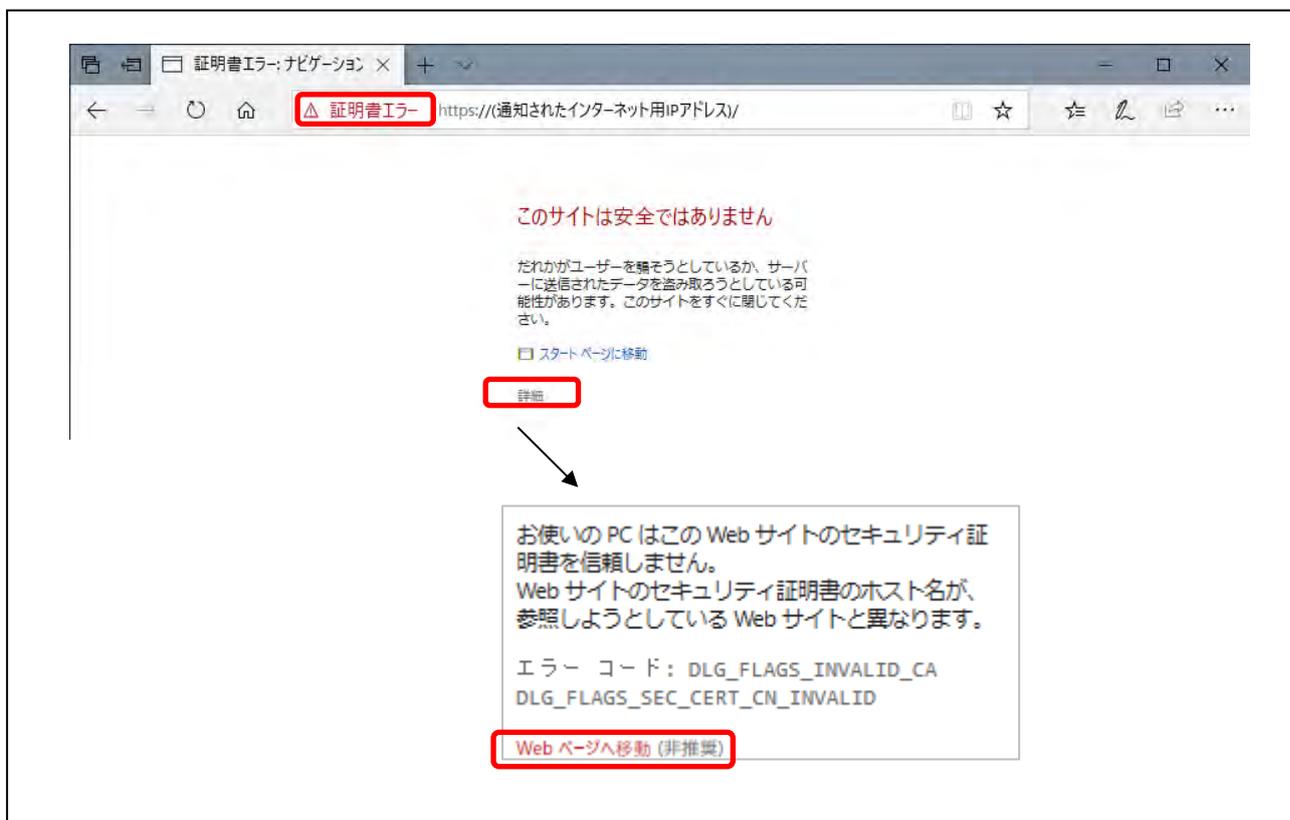
1. Web 設定の準備

1.1.5 Web 設定のトップページを開く

- (1) Web ブラウザのアドレスバーに半角英数字で「https://(通知されたインターネット用 IP アドレス)/」を入力し、[Enter]キーを押します。



- ☒ Web ブラウザのアドレスバーに半角英数字で「http://1xx.xxx.xxx.xxx/」と入力し、[Enter]キーを押しても動作します。ただし、http では暗号化されない通信のため、https をご利用されることを推奨します。
- ☒ インターネット用 IP アドレスは、契約時の書類をご確認ください。
- ☒ https による設定を行う場合、「証明書エラー」と表示されることがあります。「詳細」を選択し、「Web ページへ移動 (非推奨)」でアクセスするようにしてください。



1. Web 設定の準備

(2) Web 設定のトップページが表示されることを確認します。



トップページが開けないときは

以下の点を確認し、対処してください。

- (1) パソコンと本装置が正しく接続されているかを確認してください。
- (2) パソコンを接続している LAN 側ポートが正しいかを確認してください。
LAN 側ポートは GE1 のポート 2 を使用します。
- (3) パソコンのコマンドプロンプトから本装置の LAN 側ポートに ping を実施して、通信できるかを確認してください。通信できない場合、ローカルエリア接続を[無効]にしたあと、再度、[有効]にすることで、IP アドレスの解放／再取得を行ってください。
- (4) 本章「1.1.4 パソコンのブラウザを設定する」に従って、パソコンのブラウザ設定が正しいかを確認してください。
- (5) 本装置の設定を変更している場合、本装置の LAN 側ポートの IP アドレスとパソコンの IP アドレスが同じネットワークになっているか確認してください。

2. メニュー

2 メニュー

本章では、トップページやログイン/ログアウトの手順、設定の保存について説明します。

- 2.1 トップページ
- 2.2 ログインする
- 2.3 ログアウトする
- 2.4 設定の保存

2. メニュー

Web 設定画面の構成

Web 設定画面は、以下の4つのエリアで構成されています。

- ① 機種名エリア
- ② メニューエリア
- ③ メッセージエリア
- ④ 設定・表示エリア

メニューエリアをクリックすると、対応する画面が設定・表示エリアに表示されます。

メッセージエリアには、警告メッセージなどが表示されます。

注意 本ページ以降に記載する画面イメージでは、①機種名エリアおよび②メニューエリアを省略している場合があります。

The screenshot shows the Web Settings interface for UNIVERGE IX2106. The interface is divided into four numbered areas:

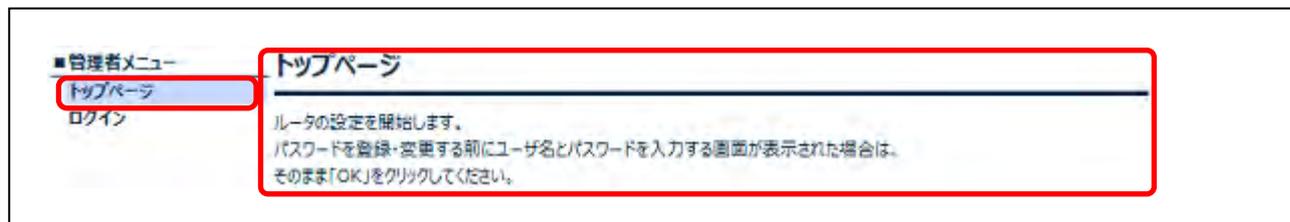
- 1**: The header area containing the device name "UNIVERGE IX2106".
- 2**: The left sidebar menu containing categories like "管理者メニュー" (Administrator Menu), "詳細設定" (Detailed Settings), and "保守管理" (Maintenance Management), with sub-items like "トップページ" (Home), "設定の保存" (Save Settings), "ログアウト" (Logout), "詳細設定" (Detailed Settings), "pingの実行" (Execute Ping), and "再起動" (Restart).
- 3**: The top message area displaying a warning: "!!注意!! 設定が変更されています。再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。設定完了後は必ず「設定の保存」を行ってください。" (Warning!! Settings have been changed. If you restart, settings not saved will return to the original state. Please save settings after completion.)
- 4**: The main content area showing the "トップページ" (Home) section with instructions: "ルータの設定を開始します。メニューから選択してください。パスワードを登録・変更する前にユーザ名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、そのまま「OK」をクリックしてください。" (Start router settings. Select from the menu. If a screen for entering username and password is displayed before registering/changing the password, click "OK" as is.) Below this are sections for "詳細設定" (Detailed Settings) and "保守管理" (Maintenance Management).

2. メニュー

2.1 トップページ

- (1) メニューの[トップページ]をクリックします。
- (2) トップページが表示されることを確認します。

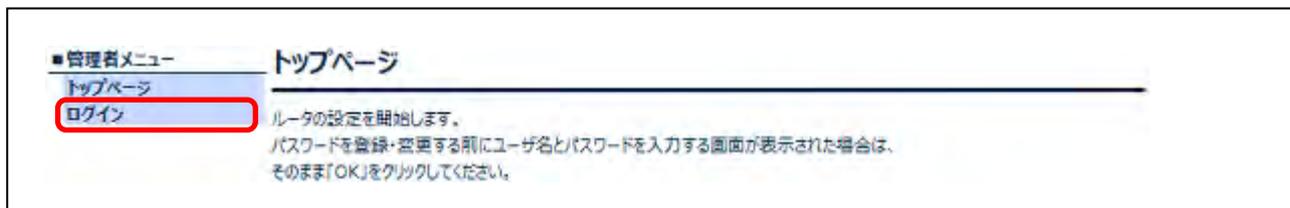
☒ ログイン前とログイン後で、メニューエリアに表示される項目が違います。



2. メニュー

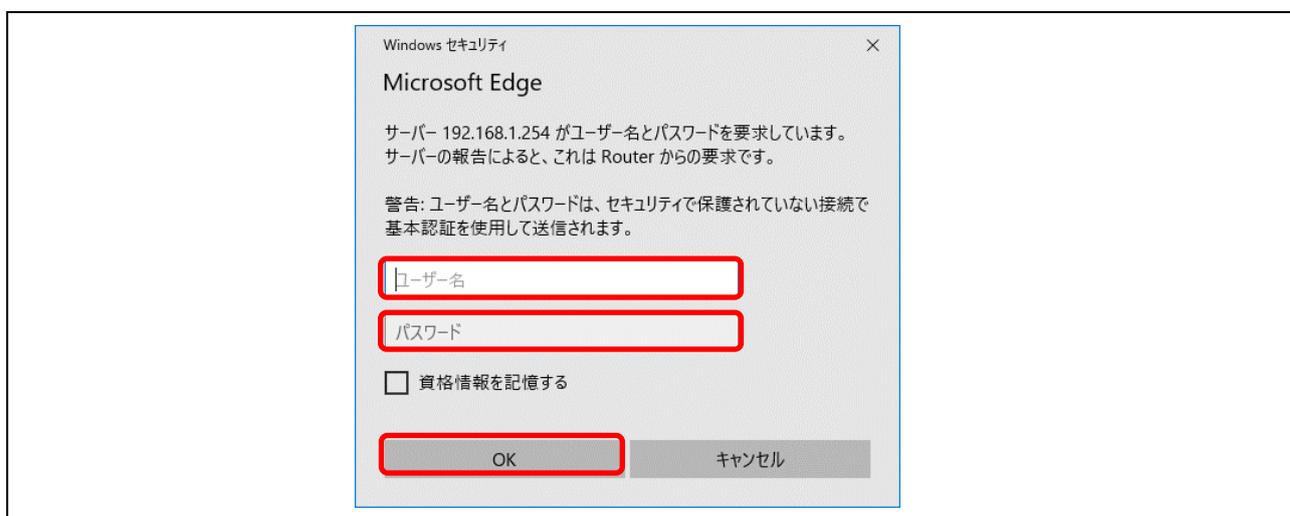
2.2 ログインする

- (1) トップページメニューから[ログイン]、または、設定・表示エリアから設定したい項目のリンクをクリックします。



- (2) ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されます。
“ユーザ名”と“パスワード”を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

- ☒ パスワードを登録・変更する前にユーザ名とパスワードを入力する画面が表示された場合、そのまま[OK]をクリックしてください。
- ☒ Web 設定からパスワードを登録・変更した場合、ユーザ名の初期設定は「web-admin」です。
- ☒ パスワードは、詳細設定から変更可能です。



2. メニュー

(3) ログイン後のトップページが表示されることを確認します。

■管理者メニュー

- トップページ
- 設定の保存
- ログアウト

■詳細設定

- 詳細設定

■保守管理

- pingの実行
- 再起動

トップページ

ルータの設定を開始します。メニューから選択してください。
パスワードを登録・変更する前にユーザ名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、そのまま「OK」をクリックしてください。

詳細設定

インタフェースやサーバのアドレスを指定したり、
詳細な設定を行う場合はこちらから設定してください。

保守管理

pingの実行、再起動の操作を行います。

強制ログイン画面について

本装置に同時にログインできるのは1ユーザまでです。

すでに本装置にログインしているユーザがいるときは、【強制ログイン】画面が表示されます。ログイン中のユーザを強制切断してログインする場合は、【強制ログイン実行】を押してください。

■管理者メニュー

- トップページ
- ログイン

強制ログイン

既にログイン中のユーザがいます。
同時にログインできるのは1ユーザまでです。
ログイン中のユーザを強制切断してログインする場合は【強制ログイン実行】を押してください。

トップページへ **強制ログイン実行**

ログインのロック中画面について

連続して3回ログインに失敗した場合、60秒間ロック状態となり、ログインができません。

60秒以上経過後、再度ログインを実行してください。

■管理者メニュー

- トップページ
- ログイン

ログインのロック中

現在Webコンソールへのログインはロックされている為、ログインすることができませんでした。
一定時間経過後にロックは解除されます。
【トップページへ】を押してお戻りください。

トップページへ

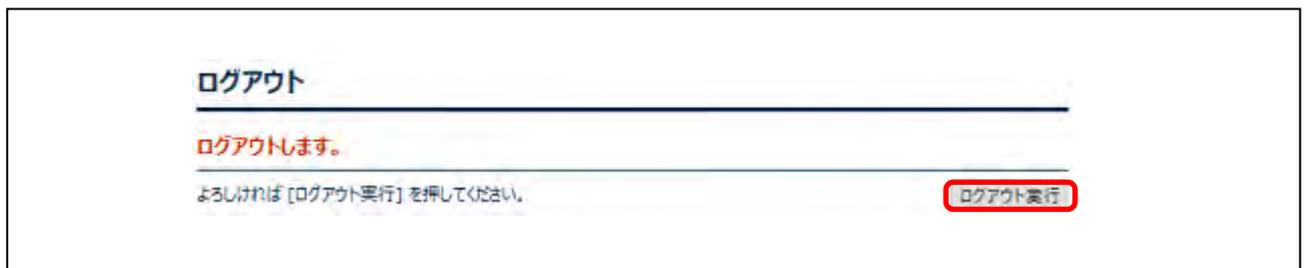
2. メニュー

2.3 ログアウトする

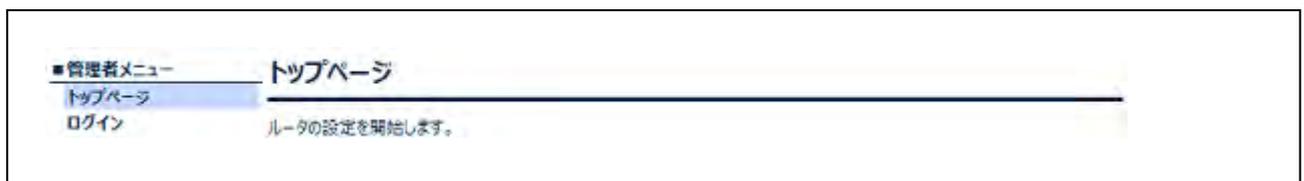
(1) メニューエリアから[ログアウト]をクリックします。



(2) [ログアウト実行]ボタンをクリックします。



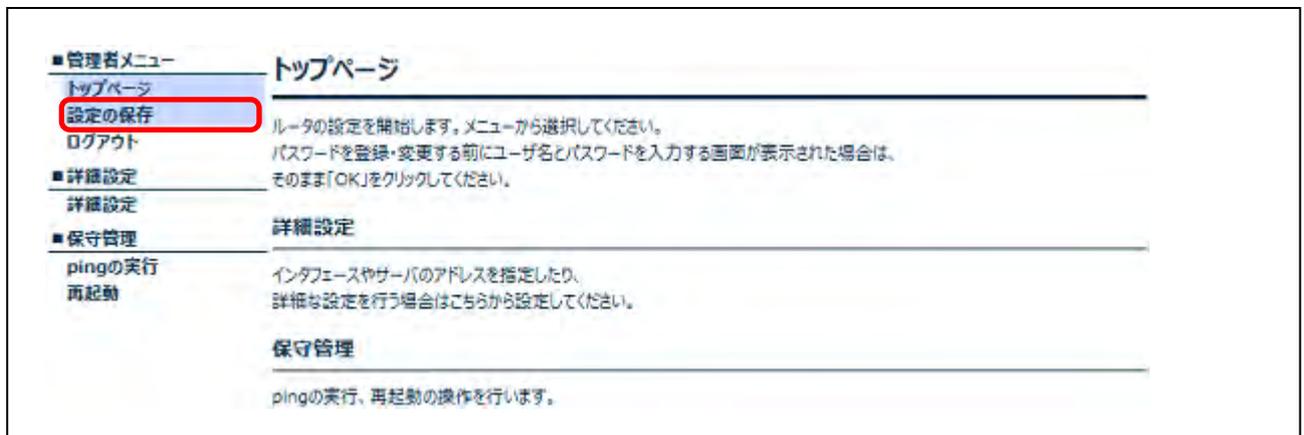
(3) ログアウト後のトップページが表示されることを確認します。



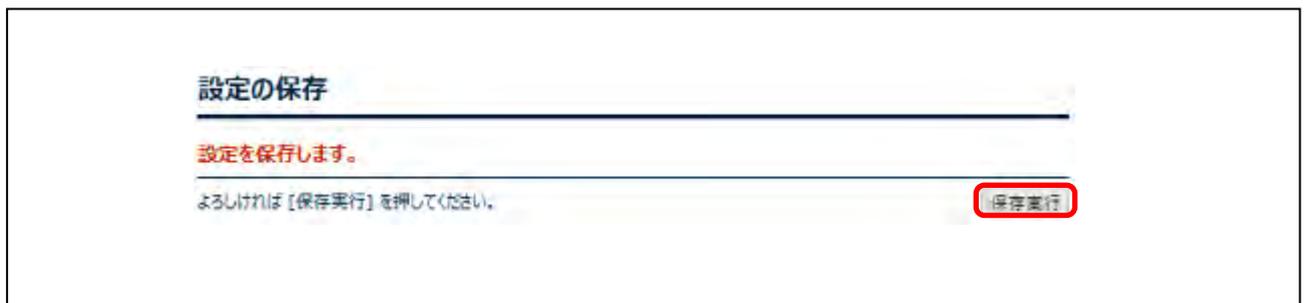
2. メニュー

2.4 設定の保存

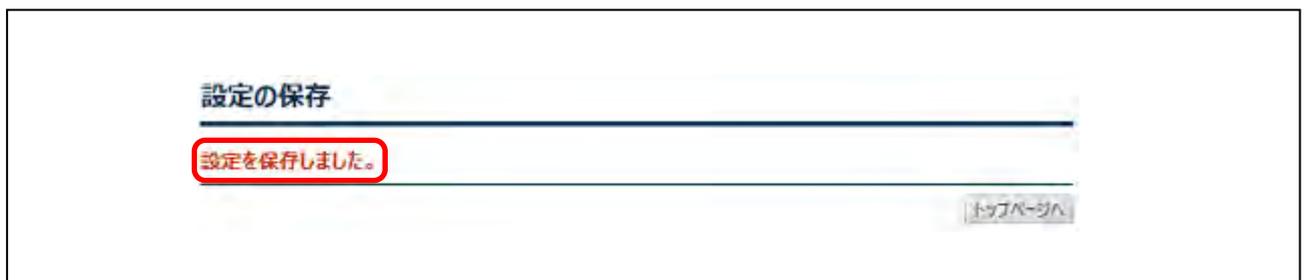
(1) ログイン後のメニューエリアから[設定の保存]をクリックします。



(2) [保存実行]ボタンをクリックします。



(3) 「設定を保存しました。」のメッセージを確認します。



3. 詳細設定

3 詳細設定

本章では、装置の設定変更をするための『詳細設定』について説明します。詳細設定では、以下の操作を行うことができます。

3.1 基本設定

- パスワードの設定

3.2 LAN

- LAN アドレスの設定
- DHCP サーバの設定

3.3 WAN

- PPPoE パススルーの設定
- 静的 NAT の設定
- WAN フィルタの設定の設定

3. 詳細設定

3.1 基本設定

3.1.1 パスワードの設定

ログイン認証用のパスワードを設定します。

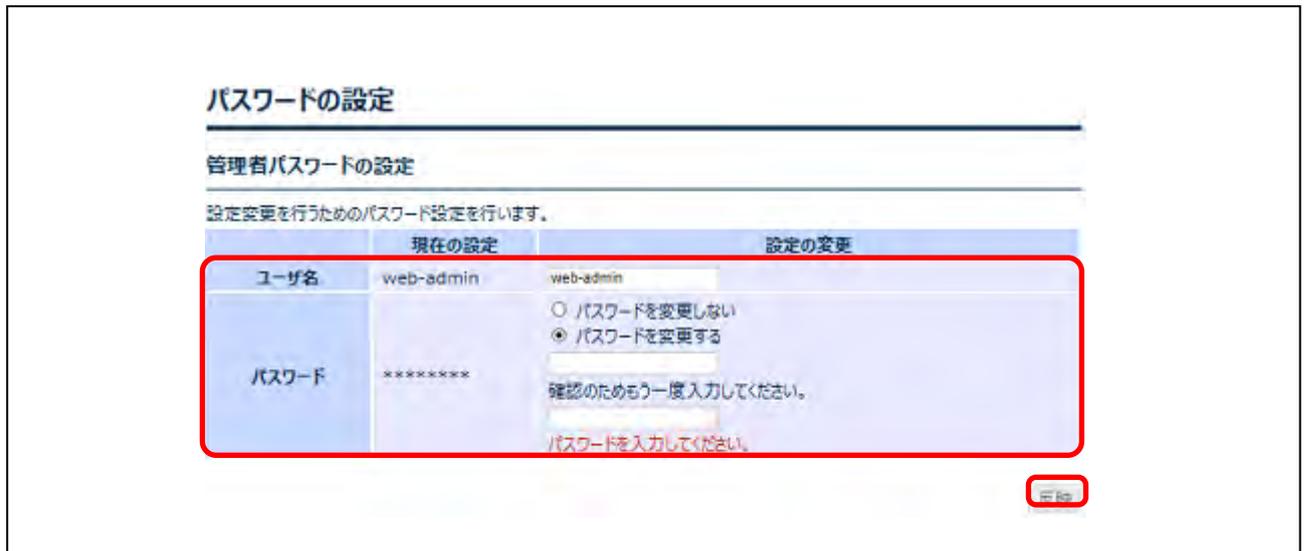
 設定を変更したときは、設定の保存を実行してください。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[詳細設定]をクリックします。
- (2) 「基本設定」の項目から[パスワードの設定]をクリックします。



3. 詳細設定

(3) 各項目を設定し、[反映]ボタンをクリックします。



番号	項目	内容
①	ユーザ名	本装置に管理者レベルの権限でログインするときのユーザを設定します。 <ul style="list-style-type: none">初期状態で、ユーザ名は「web-admin」で設定されています。
②	パスワード	本装置にログインするときのパスワードを入力します。 <ul style="list-style-type: none">半角英数字で1~249文字まで入力できます。セキュリティ性を向上させるため、パスワードの設定を強く推奨します。 <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none">パスワードを変更し[反映]をクリックしたときだけ、設定したパスワードの強度評価が行われ、その結果が表示されます。<ul style="list-style-type: none">スコア:4 (非常に強い)スコア:3 (強い)スコア:2 (普通)スコア:1 (弱い)スコア:0 (非常に弱い) <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none">大文字/小文字は区別されます。パスワードの入力文字は表示されません。●●●のように伏せ文字で表示されます。パスワードは、第三者に推測されにくく、忘れないような文字列を入力してください。

3. 詳細設定

(4) 「設定内容を変更しました。」のメッセージを確認します。



The screenshot displays a web interface for password settings. At the top, a red-bordered box contains a warning message: **!!注意!! 設定が変更されています。** (Warning!! Settings have been changed.) Below this, it states: 再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。 (When restarted, settings not saved will return to the original state.) and 設定完了後は必ず「設定の保存」を行ってください。 (After settings are complete, please be sure to click 'Save Settings'.) The main heading is **パスワードの設定** (Password Settings). Below the heading, a red-bordered box contains the message: **設定内容を変更しました。** (Settings have been changed.) Underneath, the section is titled **管理者パスワードの設定** (Administrator Password Settings). A table compares the current settings with the change options. The table has two columns: '現在の設定' (Current Settings) and '設定の変更' (Change Settings). The '現在の設定' column shows 'ユーザ名' (Username) as 'web-admin' and 'パスワード' (Password) as '*****' with a 'スコア:3 (強い)' (Score: 3 (Strong)) rating. The '設定の変更' column shows the same username 'web-admin' and two radio button options for the password: 'パスワードを変更しない' (Do not change password) and 'パスワードを変更する' (Change password). A '詳細設定へ' (Go to Detailed Settings) button is located at the bottom right of the table area.

!!注意!! 設定が変更されています。
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。
設定完了後は必ず「設定の保存」を行ってください。

パスワードの設定

設定内容を変更しました。

管理者パスワードの設定

	現在の設定	設定の変更
ユーザ名	web-admin	web-admin
パスワード	***** スコア:3 (強い)	<input checked="" type="radio"/> パスワードを変更しない <input type="radio"/> パスワードを変更する

詳細設定へ

3. 詳細設定

3.2 LAN

3.2.1 LAN アドレスの設定

LAN 側インタフェースの IP アドレスを設定します。

注意 LAN 側インタフェースの IP アドレスを変更する場合、現在の接続は切断されます。新しい IP アドレスに接続しなおしてください。

メモ LAN 側インタフェースは、以下のインタフェースを使用します。
• GigaEthernet1:2.0 (GE1 のポート 2)

メモ 設定を変更したときは、設定の保存を実行してください。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[詳細設定]をクリックします。
- (2) 「LAN」の項目から[LAN アドレスの設定]をクリックします。



3. 詳細設定

(3) 各項目を設定し、[反映]ボタンをクリックします。

LANアドレスの設定

LAN制IPアドレスを設定します。
IPアドレスを変更する場合、現在の接続は切断されます。新しいIPアドレスに接続しなおしてください。

各ポートの利用用途(仮)

- Port1: IP-PBX用
- Port2: PC用
- Port3: PPPoE対応ルータ用
- Port4: WA2021用

LANの設定

	現在の設定	設定の変更
Port1	172.16.100.254/24	変更できません
Port2	172.16.101.254/24	172.16.101.254 / 24
Port3	設定できません	
Port4	設定できません	

反映

番号	項目	内容
①	Port2	通知されたインターネット用 IPv4 アドレスを設定します。 IP アドレスを変更する場合、現在の接続は切断されます。新しい IP アドレスに接続しなおしてください。

(4) 「設定内容を変更しました。」のメッセージと、設定が反映されたことを確認します。

!!注意!! 設定が変更されています。
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。
設定完了後は必ず「設定の保存」を行ってください。

LANアドレスの設定

設定内容を変更しました。

LANの設定

	現在の設定	設定の変更
Port1	172.16.100.254/24	変更できません
Port2	172.16.101.254/24	172.16.101.254 / 24
Port3	設定できません	
Port4	設定できません	

詳細設定へ

3. 詳細設定

3.2.2 DHCP サーバの設定

LAN 側インタフェースに DHCP サーバ機能を設定します。

設定を変更したときは、設定の保存を実行してください。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[詳細設定]をクリックします。
- (2) 「LAN」の項目から[DHCPサーバの設定]をクリックします。



3. 詳細設定

(3) 各項目を設定し、[反映]ボタンをクリックします。

DHCPサーバの設定

LAN側インタフェースにDHCPサーバ機能を設定します。
割り当て範囲を自動設定にした場合、LAN側ネットワークの全てのIPアドレスが対象になります。

LAN(Port2)の設定

	現在の設定	設定の変更
IPアドレス	172.16.101.254/24	変更できません
DHCPサーバ	有効	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
割り当て範囲	自動設定	<input checked="" type="radio"/> 自動設定 <input type="radio"/> 固定設定

IPアドレス固定割り当ての設定

特定のMACアドレスにIPv4アドレスを固定で割り当てる設定を行います。8個まで登録が可能です。
DHCPサーバの設定が「無効」の場合、この設定は適用されません。
割り当て範囲外のIPアドレスを設定しても問題ありません。

	IPアドレス	MACアドレス
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

番号	項目	内容
①	IP アドレス	LAN 側インタフェースに設定されている IP アドレスを入力します。 ・ 変更できません。
②	DHCP サーバ	DHCP サーバ機能の「有効」／「無効」を設定します。 注意 ・ 「無効」を選択したときは、ネットワーク内のパソコン等の IP アドレスを個別に設定する必要があります。
③	割り当て範囲	DHCP サーバ機能を使用するとき、LAN 側インタフェースのネットワーク機器に割り当てる IP アドレスの範囲を指定します。 注意 ・ DHCP の割り当て範囲は、LAN 側 IP アドレスと同一のサブネットワークの範囲内である必要があります。 ・ 「DHCP サーバ」の[無効]を選択した場合、割り当て範囲を入力することはできません。
④	1～8	特定の MAC アドレスに割り当てる固定の IP アドレスを設定します。 ・ IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx 形式で入力します。 ・ MAC アドレスは、xx:xx:xx:xx:xx:xx 形式または xx-xx-xx-xx-xx-xx で入力します。

3. 詳細設定

- (4) 「設定内容を変更しました。」のメッセージと、設定が反映されたことを確認します。

!!注意!! 設定が変更されています。
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。
設定完了後は必ず「設定の保存」を行ってください。

DHCPサーバの設定

設定内容を変更しました。

LAN(Port2)の設定

	現在の設定	設定の変更
IPアドレス	172.16.101.254/24	変更できません
DHCPサーバ	有効	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
割り当て範囲	172.16.101.1 ~ 172.16.101.100	<input type="radio"/> 自動設定 <input checked="" type="radio"/> 固定設定 172.16.101.1 ~ 172.16.101.100

IPアドレス固定割り当ての設定

	IPアドレス	MACアドレス
1	172.16.101.15	AA:BB:CC:DD:EE:15
2	172.16.101.16	AA:BB:CC:DD:EE:16
3		
4		
5		
6		
7		
8		

詳細設定へ

3. 詳細設定

3.3 WAN

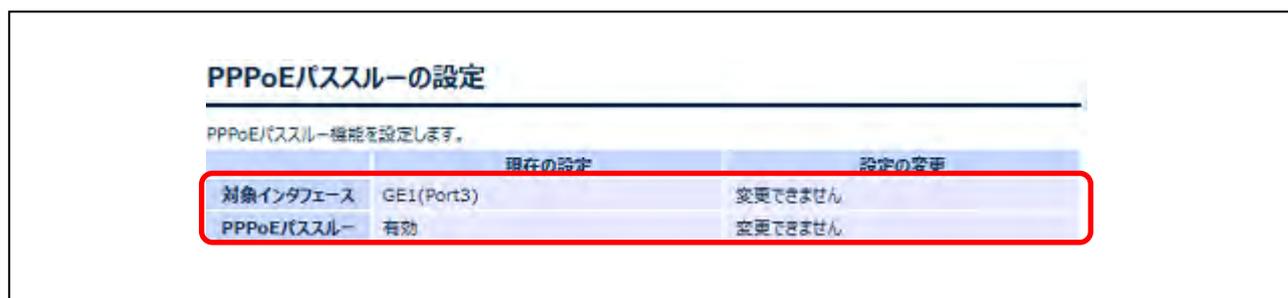
3.3.1 PPPoE パススルーの設定

PPPoE 対応ルータ用の PPPoE パススルーを確認します。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[詳細設定]をクリックします。
- (2) 「WAN」の項目から[PPPoE パススルーの設定]をクリックします。



- (3) 各項目を確認します。



3. 詳細設定

3.3.2 静的NAPTの設定

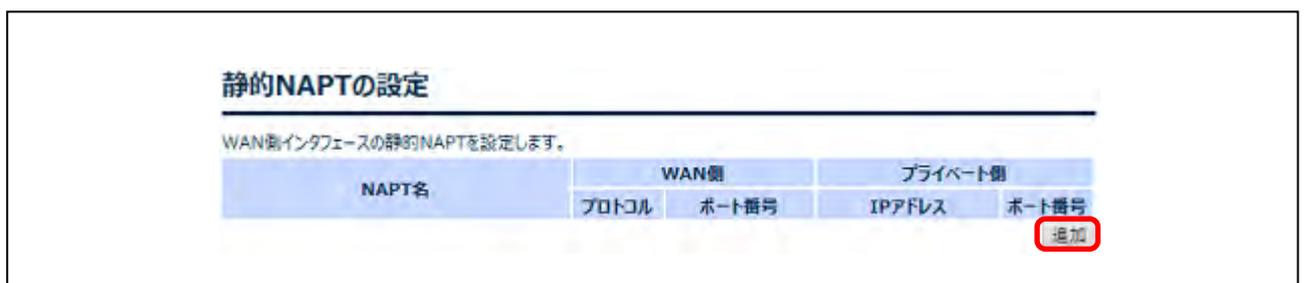
インターネット接続用WAN側インタフェースに静的NAPTを設定します。

設定を変更したときは、設定の保存を実行してください。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[詳細設定]をクリックします。
- (2) 「WAN」の項目から[静的NAPTの設定]をクリックします。



- (3) [追加]ボタンをクリックします。



3. 詳細設定

(4) 各項目を設定し、[反映]ボタンをクリックします。

メモ 機能リストにない場合、ポート番号も変換が必要な場合は、「ポート番号指定」を選択してください。

機能リスト選択の場合



番号	項目	内容
①	設定方法	「機能リスト選択」を選択します。
②	機能リスト	外部公開するプロトコル・ポート番号を選択します。
③	プライベート側 IP アドレス	プライベート側端末のIPアドレスを設定します。 空欄にした場合、ルータがWAN側アドレスで受信します。

3. 詳細設定

ポート番号指定の場合

静的NAPTの設定

機能リストにない場合、ポート番号も変換が必要な場合は、「ポート番号指定」を選択して設定してください。
設定を追加する場合は [追加] を押してください。

	現在の設定	設定の変更
設定方法		<input type="radio"/> 機能リスト選択 <input checked="" type="radio"/> ポート番号指定
NAPT名		任意の名称を設定してください。 同一名称の設定が既にある場合は、その設定を上書きします。 <input type="text"/> 文字列(半角英数字)を入力してください。
プロトコル		<input checked="" type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP
ポート番号		外部に公開するポート番号を設定してください。 <input checked="" type="radio"/> ポート指定 <input type="radio"/> ポート範囲指定 <input type="text"/> 数字を入力してください。
プライベート側 IP アドレス		プライベート側端末のIPアドレスを設定してください。 <input type="text"/> IPアドレスを入力してください。
プライベート側ポート番号		プライベート側端末が使用するポート番号を設定してください。 アドレスだけ変換する場合は「変換なし」を選択してください。 <input checked="" type="radio"/> 変換なし <input type="radio"/> 変換する

戻る 追加

番号	項目	内容
①	設定方法	「ポート番号指定」を選択します。
②	NAPT 名	任意の名称を設定してください。 同一名称の設定が既にある場合は、その設定を上書きします。 ・ 半角英数字で 1~31 文字まで入力できます。
③	プロトコル	TCPかUDPを選択します。
④	ポート番号	外部に公開するポート番号を設定します。
⑤	プライベート側 IP アドレス	プライベート側端末のIPアドレスを設定します。
⑥	プライベート側ポート番号	プライベート側端末のポート番号を設定します。 アドレスだけ変換する場合は「変換なし」を選択してください。

3. 詳細設定

(5) 設定が追加されたことを確認します。

!!注意!! 設定が変更されています。
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。
設定完了後は必ず[設定の保存](#)を行ってください。

静的NAPTの設定

WAN側インタフェースの静的NAPTを設定します。

NAPT名	WAN側		プライベート側	
	プロトコル	ポート番号	IPアドレス	ポート番号
https	tcp	443	172.16.101.129	変換なし

[追加](#)

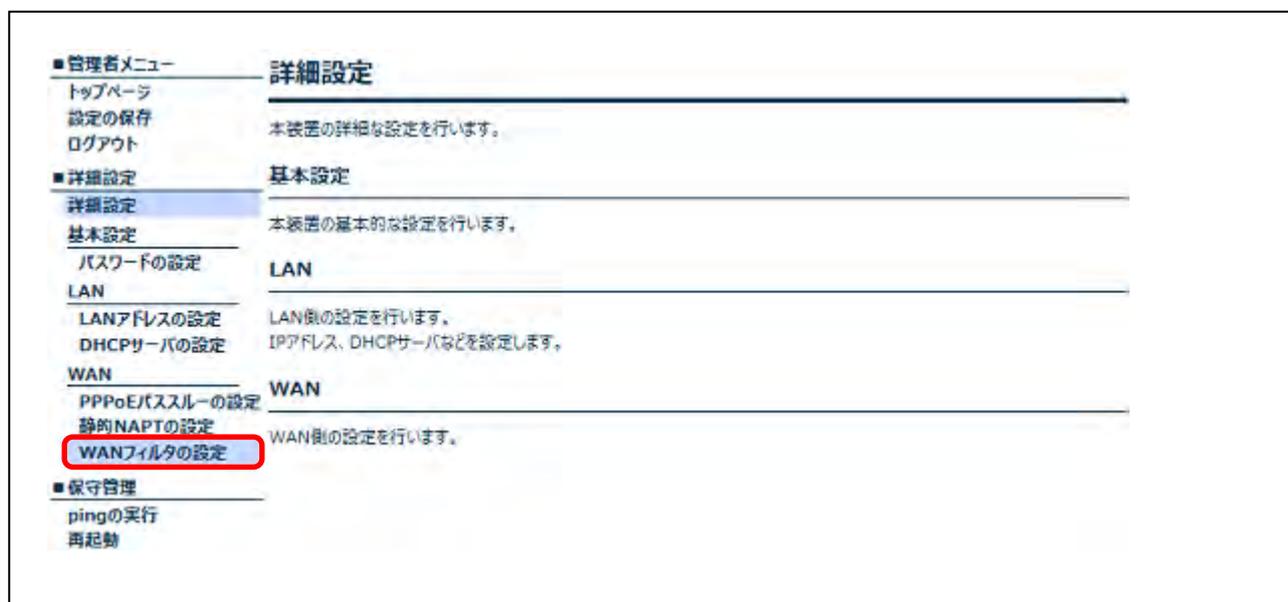
3. 詳細設定

3.3.3 WAN フィルタの設定

インターネット接続用 WAN 側インタフェースに IPv4 フィルタを設定します。

- 設定するには、「プロバイダの設定」が必要です。
- 透過を指定したフィルタを設定した場合、それ以外の通信はすべて廃棄されます。
- 設定を変更したときは、設定の保存を実行してください。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[詳細設定]をクリックします。
- (2) 「WAN」の項目から[WAN フィルタの設定]をクリックします。



3. 詳細設定

(3) WAN フィルタを適用したい方向(受信/送信)の[追加]ボタンをクリックします。

メモ 受信フィルタを設定すると、パケット受信時にフィルタの評価を行い、送信フィルタを設定すると、パケット送信時にフィルタの評価を行います。

WANフィルタの設定

WAN側インタフェースのIPv4フィルタを設定します。
フィルタを設定すると、「透過」指定したものを以外は「廃棄」されます。

受信フィルタ

番号	動作	プロトコル	送信元		送信先		追加
			IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号	

送信フィルタ

番号	動作	プロトコル	送信元		送信先		追加
			IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号	

(4) 各項目を設定し、[反映]ボタンをクリックします。

WANフィルタの設定

設定を追加する場合は [追加] を押してください。

受信フィルタ

		現在の設定	設定の変更
シーケンス番号			100
動作			<input checked="" type="radio"/> 透過 <input type="radio"/> 廃棄
プロトコル			TCP
送信元	IPアドレス		<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> IPアドレス指定
	ポート番号		<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> ポート指定 <input type="radio"/> ポート範囲指定
送信先	IPアドレス		<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> IPアドレス指定
	ポート番号		<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> ポート指定 <input type="radio"/> ポート範囲指定

戻る 追加

3. 詳細設定

番号	項目	内容
①	シーケンス番号	<p>フィルタのシーケンス番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 32種類のフィルタを設定することができます。 シーケンス番号は1～4294967295までの数字を使用できます。既に作成済みのフィルタの間に挿入したい場合は、前後のフィルタの番号の間のシーケンス番号を設定してください。 複数のフィルタを設定したときは、若い番号順にパケットのフィルタリングを行います。
②	動作	<p>パケットに対する処理動作を「透過」／「廃棄」から選択します。</p>
③	プロトコル	<p>フィルタリング対象とするプロトコルをプルダウンメニューから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロトコルは、[TCP]、[UDP]、[ICMP]、[すべて]、[任意のプロトコル番号]から選択します。 プルダウンメニューで[任意のプロトコル番号]を選択したときは、プロトコル番号(1～255)を入力します。
④	送信元 IP アドレス	<p>フィルタリング対象とする送信元の IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての IP アドレスからのパケットに対してフィルタリングを行うときは、「すべて」を選択します。 特定の IP アドレスからのパケットに対してフィルタリングを行うときは、「IP アドレス指定」を選択し、IP アドレスを入力します。
⑤	送信元ポート番号	<p>フィルタリング対象とする送信元のポート番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのポート番号のパケットに対してフィルタリングを行うときは、「すべて」を選択します。 特定のポート番号のパケットに対してフィルタリングを行うときは、「ポート指定」もしくは「ポート範囲指定」を選択し、ポート番号を入力します。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> プロトコルで[TCP]または[UDP]を選択した場合のみ、ポート番号の設定が有効です。
⑥	送信先 IP アドレス	<p>フィルタリング対象とする送信先の IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての IP アドレスへのパケットに対してフィルタリングを行うときは、「すべて」を選択します。 特定の IP アドレスへのパケットに対してフィルタリングを行うときは、「IP アドレス指定」を選択し、IP アドレスを入力します。
⑦	送信先ポート番号	<p>フィルタリング対象とする送信先のポート番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのポート番号のパケットに対してフィルタリングを行うときは、「すべて」を選択します。 特定のポート番号のパケットに対してフィルタリングを行うときは、「ポート指定」もしくは「ポート範囲指定」を選択し、ポート番号を入力します。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> プロトコルで[TCP]または[UDP]を選択した場合のみ、ポート番号の設定が有効です。

3. 詳細設定

(5) 設定が追加されたことを確認します。

!!注意!! 設定が変更されています。
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。
設定完了後は必ず「設定の保存」を行ってください。

WANフィルタの設定

WAN側インタフェースのIPv4フィルタを設定します。
フィルタを設定すると、「透過」指定したものの以外は「廃棄」されます。

受信フィルタ

番号	振り直し	動作	プロトコル	送信元		送信先			
				IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号		
11		透過	TCP	すべて	11111	すべて	11111	変更	削除
22		透過	TCP	すべて	22222	すべて	22222	変更	削除
33		透過	TCP	すべて	33333	すべて	33333	変更	削除
44		透過	TCP	すべて	44444	すべて	44444	変更	削除

追加

送信フィルタ

番号	振り直し	動作	プロトコル	送信元		送信先			
				IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号		
99		透過	TCP	すべて	9999	すべて	9999	変更	削除

追加

(6) 「振り直し」をクリックすることで、100番単位の番号に振り直すこともできます。

!!注意!! 設定が変更されています。
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。
設定完了後は必ず「設定の保存」を行ってください。

WANフィルタの設定

WAN側インタフェースのIPv4フィルタを設定します。
フィルタを設定すると、「透過」指定したものの以外は「廃棄」されます。

受信フィルタ

番号	振り直し	動作	プロトコル	送信元		送信先			
				IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号		
100		透過	TCP	すべて	11111	すべて	11111	変更	削除
200		透過	TCP	すべて	22222	すべて	22222	変更	削除
300		透過	TCP	すべて	33333	すべて	33333	変更	削除
400		透過	TCP	すべて	44444	すべて	44444	変更	削除

追加

送信フィルタ

番号	振り直し	動作	プロトコル	送信元		送信先			
				IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号		
99		透過	TCP	すべて	9999	すべて	9999	変更	削除

追加

4. 保守管理

4 保守管理

本章では、『保守管理』について説明します。
保守管理では、以下の操作を行うことができます。

- 4.1 ping の実行
- 4.2 再起動

4. 保守管理

4.1 ping の実行

他の IP アドレスへの到達性を確認します。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[保守管理]の[ping の実行]をクリックします。
- (2) 各項目を入力し、[ping 実行]ボタンをクリックします。
- (3) 実行結果を確認します。

■管理者メニュー
トップページ
設定の保存
ログアウト
■詳細設定
詳細設定
■保守管理
ping の実行
再起動

ping の実行

他のIPアドレスへの到達性を確認します。
以下のフォームに入力して、[ping実行]を押してください。

実行内容

実行内容	
送信先 IPアドレス	172.16.101.1
送信元 IPアドレス	IPアドレスを指定する場合は入力してください。省略可能です。 (省略時はLANのIPアドレスが使用されます)
パケットサイズ	サイズを指定する場合は入力してください。省略可能です。

ping実行

実行結果

```
Router(config)# ping 172.16.101.1
PING 172.16.101.254 > 172.16.101.1 56 data bytes
64 bytes from 172.16.101.1: icmp_seq=0 ttl=128 time=0.303 ms
64 bytes from 172.16.101.1: icmp_seq=1 ttl=128 time=0.559 ms
64 bytes from 172.16.101.1: icmp_seq=2 ttl=128 time=1.049 ms
64 bytes from 172.16.101.1: icmp_seq=3 ttl=128 time=0.743 ms
64 bytes from 172.16.101.1: icmp_seq=4 ttl=128 time=1.109 ms

--- 172.16.101.1 ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 packets received, 0% packet loss
round-trip (ms)  min/avg/max = 0.303/0.752/1.109
Router(config)#
```

番号	項目	内容
①	送信先 IP アドレス	送信先(到達性を確認したい宛先)の IP アドレスを入力します。
②	送信元 IP アドレス	IP アドレスを指定する場合は入力してください。省略可能です。 ・ 省略した場合、LAN の IP アドレスが使用されます。
③	パケットサイズ	サイズ(byte)を指定する場合は入力してください。省略可能です。 ・ 省略した場合、56byte のパケットが送信されます。 ・ 4~65507byte の範囲で指定することができます。

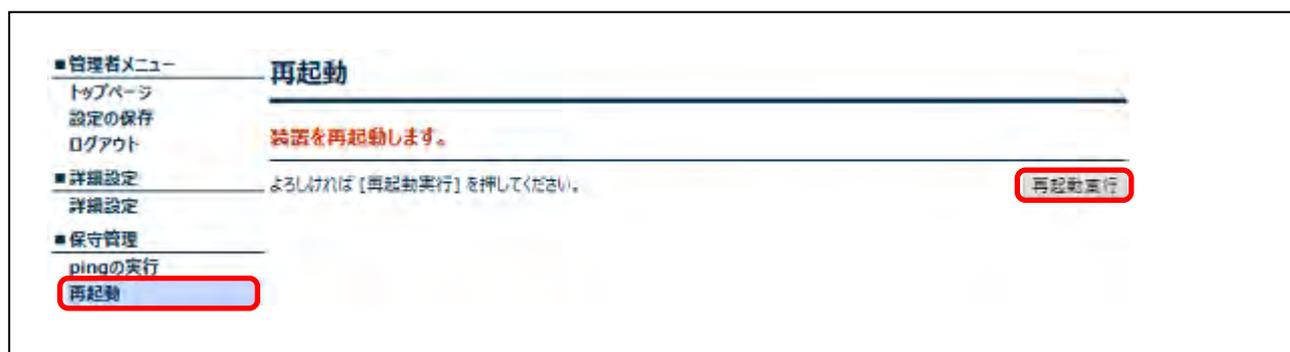
4. 保守管理

4.2 再起動

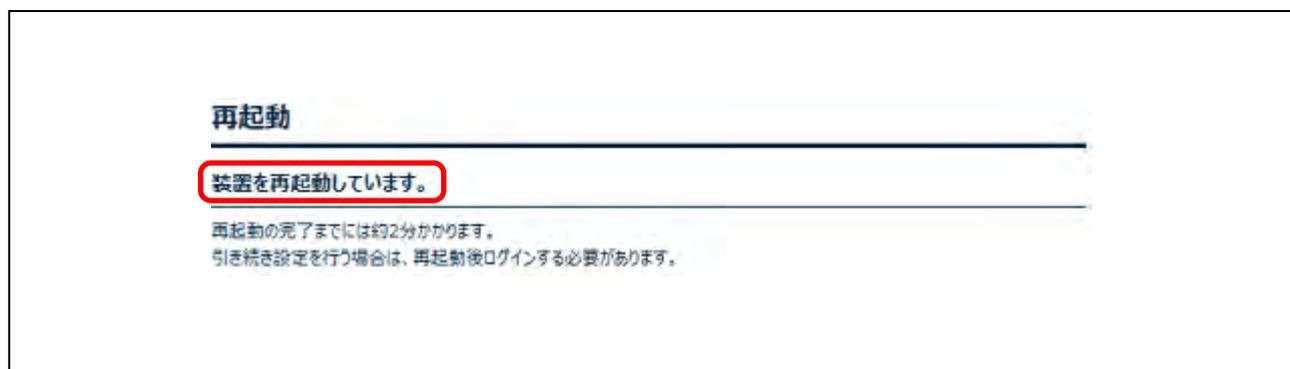
装置を再起動します。

 設定を変更したときは、設定の保存を行ってから再起動してください。

- (1) ログイン後のメニューエリアから[保守管理]の[再起動]をクリックします。
- (2) [再起動実行]ボタンをクリックして、装置の再起動を行います。



- (3) 「装置を再起動しています。」のメッセージを確認し、数分待ちます。



- (4) 「装置を再起動しました。」のメッセージを確認します。



5. 困ったときには

5 困ったときには

本章では、『困ったときには』について説明します。
画面に表示されるメッセージについて、それぞれの理由を確認できます。

- 5.1 メッセージエリアの警告メッセージ
- 5.2 入力エラーメッセージ

5. 困ったときには

5.1 メッセージエリアの警告メッセージ

メッセージエリアに表示される警告メッセージの一覧です。
画面に表示される警告メッセージと、表示した理由を説明しています。

画面表示	表示理由
!!注意!! パスワードが設定されていません。 『パスワードの設定』を行ってください	ログインパスワードが設定されていません。
!!注意!! 設定が変更されています。 再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。設定完了後は必ず『設定の保存』を行ってください。	各設定ページで設定情報が変更されています。
!!注意!! 設定の保存に失敗しました。 再起動した場合、設定は元の状態に戻ります。	設定の保存に失敗しました。
設定の反映に失敗しました。 入力値を見直してください。	入力した値や文字列に問題があります。

5. 困ったときには

5.2 入力エラーメッセージ

入力画面で入力内容に間違いがあったとき、入力ボックス下やページ右下付近に表示されるメッセージです。

画面に表示される入力エラーメッセージと、エラーの理由を説明しています。

画面表示	表示理由
使用できない文字があります。	使用不可能な文字がフォームに入力されました。
文字列長が長すぎます。	フォームに入力している文字数が入力可能な範囲を越えています。
文字列(半角英数字)を入力してください。	文字列の入力形式が間違っています。
IP アドレスを入力してください。	IP アドレスが未記入、もしくは入力形式が間違っています。
IP アドレスとプレフィックスの組み合わせが不正です。	ネットワーク指定時の IP アドレス(プレフィックス)とサブネットマスクが不一致です。
パスワードを入力してください。	ログインパスワードが入力されていません
確認用パスワードを入力してください。	確認用のログインパスワードが入力されていません
パスワードが一致していません。	設定したパスワードと確認のためのパスワードの文字列が一致していません。
数字を入力してください。	ポート番号が入力されていません。
範囲が異常です。	ポート番号の範囲指定が異常です。
範囲外の数字です。	入力範囲外の値を入力しました。
シーケンス番号が重複しています。	フィルタの設定で、既に使われているシーケンス番号を登録しようとしてしました。

UNIVERGE IX2106
IP-PBX用ゲートウェイ
Web設定マニュアル
GYS-055902-001-00

Copyright 2020 © NEC Corporation
2020年1月 1版
日本電気株式会社
(禁無断複製)

NEC